



## 株式会社蔵王あぐり



## 1 現在の活動状況等

## (1) 経営理念等

- ①「牛は仕事のパートナー」 経済動物であると同時に仕事のパートナーとして愛情を持って接します。
- ②「結果を出す子牛を育てる」 どうすれば良い牛として育つか実践と検証を重ね、精進しています。
- ③「スタッフが自立できる力を蓄える」 外部の研修会などへも参加し、畜産経営者へと成長できるよう人材育成を進めます。

## (2) 生産技術の特徴

- 牛群検定を活用し、乳質・衛生管理、乳牛の健康管理、繁殖管理、優秀な後継牛確保を実践している。
- 黒毛和牛受精卵移植を導入し、年間40頭規模の和牛子牛生産を行っている。
- 近年は黒毛和牛の繁殖部門を導入し、優良な肥育素牛を生産している。

## (3) 販売面の特徴

- 生乳の全量をみやぎの酪農農業協同組合へ出荷している。
- 和牛子牛は家畜市場へ出荷である。

## (4) 経営組織の特徴

- 代表取締役1名による役員体制であり、農場長(代表取締役の次女)が現場作業の統括者となっている。
- 代表取締役と農場長のリーダーシップのもとで、各職員の担当業務を明確化し、職員各々の目標を定めて業務を進めている。
- 代表取締役と農場長は女性、正社員スタッフは女性1名、男性1名である。
- 正社員スタッフは、それぞれ農業高校、農業大学校から新卒で採用している。

## (5) 労務管理の特徴

- 6:30~10:30, 15:00~19:00を基本的な就業時間とした週休二日制の勤務体制である。
- 快適なトイレ、シャワー室、休憩室を設け、女性も働きやすい環境を整えている。
- 業務管理に人材育成の観点を重視しており、各自が業務目標を設定し、定期ミーティングで「出来たこと」を重視した報告を行う「自分の目標管理」が、社員に定着している。

## (6) 経営管理の特徴

- 牛の動態や分娩状況等の生産管理や経営成績を社員にわかりやすく「見える化」したうえで、会社と社員各々の目標を「事業計画発表会」で定め、達成状況を定期ミーティングで検証して次につなげるPDCA管理を継続的に実施している。
- 中小企業診断士と顧問契約を結び、PDCA管理のレベルアップに努めている。

## (7) その他、特筆すべき事項

- 代表取締役の小林郁恵氏は県指導農業士であり、地域の若手経営者の育成にも尽力している。

## 2 法人設立までの変遷(取り組み経過等)

## (1) 法人設立までの動機、きっかけ

- 平成9年有限会社設立、平成30年株式会社に組織変更。
- 会計財務等の数字を明確に管理すること及び雇用確保のための体制整備が動機であった。

## (2) 法人化に至る経過等

- 普及センター等の支援機関に相談しながら、専門家の指導を受け、法人化の検討から設立を進めた。

## 経営のプロフィール

## 経営概要

- 酪農経営+受精卵移植による黒毛和牛子牛生産
- ・乳用牛 経産牛70頭 育成牛40頭
  - ・肉用牛 繁殖黒毛和牛7頭
  - ・ET(受精卵移植)和牛出荷 40頭/年

## 主な施設・機械の保有

- ・乳牛牛舎1棟600㎡ ・分娩牛舎1棟
- ・和牛牛舎2棟 ・堆肥舎1棟 ・事務所
- ・搾乳プラント一式(パイプライン方式)

## 構成員等

- ・構成員(役員):代表取締役1名
- ・正社員3名(農場長1名, スタッフ2名)
- ・パート雇用2名

## 法人設立年月日

- 平成9年5月8日 有限会社設立登記  
平成30年8月15日 株式会社へ組織変更

## 認定農業者認定年月日

令和2年3月18日

## 資本金

500万円

## 販売額等

1億2千万円(令和2年度)

## 役員名

代表取締役:小林 郁恵

## 補助事業・制度資金活用実績

- 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入)
- 畜産・酪農生産力強化対策事業

- 会社設立後に段階的に施設整備と雇用導入を進め、現在の会社体制を整えた。

## (3) 法人化後の評価(良かった点等)

- スタッフが安心して働くうえで欠かせない就業規則や福利厚生を整備を進めることができた。
- 現在は、人材を育成できる体制が整ったことから、高校新卒者を雇用している。入社した社員の人生を預かっていると考えている。
- 酪農に意欲あるメンバーが集まり、ともに職業として取り組める経営のかたちを作ることができた。

## 3 今後、将来に向けてのビジョン等(現時点)

## (1) 将来ビジョンと経営戦略等

- 当社の経営理念である、牛を仕事のパートナーとして、スタッフ各々が自立できる畜産経営者へと成長することが基本的な将来ビジョンである。
- 引き続き農業高校、農業大学校等から意欲ある人材を採用し、育成する。
- 社員の労働に見合った給与、手当を支給し、有給休暇を確保することで、働きやすい安定した就業条件の整備を進める。

## (2) 達成へ向けた課題及び取り組み状況

- 酪農、農業経営を取り巻く社会経済環境は常に変動しており、今後も様々な課題が生じると認識している。
- 引き続き、会社と社員各々の目標を定め、達成状況を検証して次につなげるPDCA管理を継続的に実施する。

(調査 大河原農業改良普及センター)

## 略図



## 株式会社蔵王あぐり

〒989-1503  
柴田郡川崎町大字川内字七曲山187番地の3  
TEL 0224-84-5514 FAX 0224-87-6723  
URL <https://www.zao-aguri.co.jp>

## 視察受入条件

## 受入可

受入条件 視察目的を明確にしたうえで、普及センターを通じて御相談ください。